

(様式3-2)

川崎市英語教育改善プラン

③「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について

令和元年度は、学習到達目標の設定については、前年度と変わらず 86.7%、公表については、前年度比 13.3 ポイント増の 40%、達成状況の把握については、前年度比 20 ポイント減の 0% となった。令和 2 年度以降も目標値である設定 100%、公表 60%、達成状況の把握 50%の達成に向けて、全校が「『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標」を設定するとともに、それらを生徒や保護者と共有し、またホームページ等で公表することを各教科等研究協議会英語科部会や外国語教育担当者会等を通して各校に促していく。また、引き続きCAN-DOリスト及びそれを反映した年間指導計画を提出するようにする。

④「生徒の英語による言語活動時間の割合」について

令和元年度は、前年度比 8.3 ポイント増の 75%となった。令和 2 年度以降も目標値 80%の達成に向けて、「高等学校外国語教育指導力向上研修」、各教科等研究協議会、外国語教育担当者会を通して、発信力の向上や統合的な言語活動の具体的な取組例を示して授業における言語活動を充実させるよう授業改善への取組を各学校に促していく。

⑤「各科目におけるスピーキングテスト及びライティングテストの実施状況」について

令和元年度は、スピーキングテストは 2 科目で増加、2 科目で減少、1 科目で変わらずとなり、ライティングテストは 2 科目で増加、3 科目で減少となった。令和 2 年度以降も目標値の達成に向けて、「高等学校外国語教育指導力向上研修」や「英語教育希望研修」でパフォーマンステストの実施方法の研修を実施し、また各教科等研究協議会で実践事例の紹介し、各科目において適切なパフォーマンス評価が着実に行われるよう取り組む。また各教科等協議会では、年間指導計画にパフォーマンステストの実施計画を記入するように各校に求め、提出するようにする。

⑥「英語担当教員の英語使用状況」について

令和元年度は、前年度比 4.4 ポイント増の 80.4%となり目標値を達成した。令和 2 年度以降も目標値 85%とし、「高等学校外国語教育指導力向上研修」や「英語教育希望研修」、外国語教育担当者会、各教科等研究協議会を通し、授業力向上の研修を実施し、各校の授業改善を進め、英語科教員の英語力・指導力向上を図っていく。

⑦「研修実施回数及び受講者数」について

現在の取組を継続・検証し、効果的な研修につなげていく。また、要請訪問による授業視察及び指導・助言を行う。

【中学校】

①「求められる英語力を有する英語担当教員の割合」について

令和元年度は、前年度比 3.4 ポイント増の 39.9%となった。令和 2 年度以降も目標値 50%の達成に向けて、「中学校外国語教育指導力向上研修」を実施し、英語科教員の英語力及び指導力を向上させるとともに、年 2 回の教育課程研究会や研修の中で、外部検定試験未受験者に対して受験を奨励していく。また同時に受験料の一部負担を実施するなどして、引き続き教員の英語力及び指導力の向上を図っていく。

②「求められる英語力を有する生徒の割合」について

令和元年度は、前年度比 1.2 ポイント増の 43.5%となった。令和 2 年度以降も目標値 50%の達成に向けて、市の教育研究会英語科部会の研究主題「主体的な学びを通して、積極的にコミュニケーションを図ることができる生徒の育成～目的・場面・状況を意識した授業の実践～」に沿って、各学校で研究に取り組み、研究授業や市教育委員会が主催する教育課程研究会や外

国語教育担当者会等を通し、教員の指導力向上に努め、授業改善につなげるものとする。また、生徒の外部検定試験受験を推進するように、教科部会総会や各研修、教育課程研究会で各学校に促していく。

③「学習到達目標の整備状況（設定・公表・達成状況の把握）」について

令和元年度は、学習到達目標の設定については、前年度比 5.8 ポイント減少し 94.2%、公表については、前年度比 13.5 ポイント増の 32.7%、達成状況の把握については、前年度比 1.9 ポイント減の 32.7%となった。令和2年度以降も目標値である設定 100%、公表 50%、達成状況の把握 50%の達成に向けて、全校が「『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標」を設定するとともに、それらを生徒や保護者と共有し、またホームページ等で公表することを教科部会総会や各研修、教育課程研究会を通して各校に促していく。また、引き続きCAN-DOリスト及びそれを反映した年間指導計画を提出するようにする。

④「生徒の英語による言語活動時間の割合」について

令和元年度は、前年度比 0.7 ポイント増の 84.2%となった。令和2年度以降も目標値 85%の達成に向けて、「中学校外国語教育指導力向上研修」、教育課程研究会、外国語教育担当者会を通して、言語活動の実践的な取組例を示して授業における言語活動を充実させるよう授業改善への取組を各学校に促していく。

⑤「各科目におけるスピーキングテスト及びライティングテストの実施状況」について

令和元年度は、スピーキングテストは 2.9 回で増加となり、ライティングテストは 1.6 回で減少となった。令和2年度以降も目標値の達成に向けて、「中学校外国語教育指導力向上研修」や「英語教育希望研修」でパフォーマンステストの実施方法の研修を実施し、また教育課程研究会で実践事例の紹介し、授業改善を図り、各科目において適切なパフォーマンス評価が着実に行われるように取り組む。

⑥「英語担当教員の英語使用状況」について

令和元年度は、前年度比 4.5 ポイント増の 91.8%となり、目標値を達成した。令和2年度以降も目標値の達成に向けて、「中学校外国語教育指導力向上研修」や「英語教育希望研修」外国語教育担当者会、教育課程研究会を通し、授業力向上の研修を実施し、各校の授業改善を進め、英語科教員の英語力・指導力向上を図っていく。

⑦「研修実施回数及び受講者数」について

現在の取組を継続・検証し、効果的な研修につなげていく。また、学校訪問による授業視察及び指導・助言を行う。

【小学校】

①「学習到達目標の整備状況」について

既に取り組まれている中学校での学習到達目標を参考に整備を始める。初めての取組なので、令和2年度は、目標値である設定 10%、公表 5%、達成状況の把握 5%の達成に向けて、「『CAN-DOリスト』の形での学習到達目標」を設定することを研究会総会や各研修、教育課程研究会を通して各校に促していく。

②「研修実施回数及び受講者数」について

現在の取組を継続・検証し、効果的な研修につなげていく。また、学校訪問による授業視察及び指導・助言を行う。

③「小学校の新規採用者に占める一定の英語力を有する者の割合」について

小学校教員の採用試験においては、中学年の外国語活動の導入と高学年の外国語の教科化を踏まえ、令和元年度実施の試験から、受験申込書添付資料に「外国語の授業や外国語活動に活かせる資格・特技・海外在住・留学・経験等」欄を設け、外国語の指導に活かせる経験や資質・能力を有用な資質・能力として評価し、二次試験における総合的な判断材料としている。また、令和2年度実施の採用試験から、中学校英語の教員免許状を有する者の1次試験における加点制度を導入し、更に、外国語教育に有用な資質・能力を有する者の採用に努める。

(3) 研修の体系と内容の具体

○高等学校外国語教育指導力向上研修

対象	高等学校の外国語教員（各校1名）
目的・内容	・新学習指導要領に基づく授業改善の方法、評価方法について学ぶ。 ・教員の指導力及び英語力の向上を図る。
受講予定者数	9名（全日制5名、定時制4名）
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。

○中学校外国語教育指導力向上研修

対象	中学校の外国語教員
目的・内容	・新学習指導要領に基づく授業改善の方法、評価方法について学ぶ。 ・教員の指導力及び英語力の向上を図る。
受講予定者数	52名
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。

○小学校外国語中核教員（CET）研修

対象	小学校中核英語教員（CET）
目的・予定	・教員の外国語（英語）教育における指導力及び英語力の向上に資する研修を実施し、各学校で外国語教育の中核を担う教員を育成する。 ・実践的な指導法について研修を行い、各校での授業改善を図る。
受講予定者数	115名
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。

○小学校英語強化教員（ERT）研修

対象	小学校英語強化教員（ERT）
目的・内容	・外国語教育における指導力及び英語力の向上に資する研修を実施し、学級担任を英語面で補助する小学校英語強化教員（ERT）を育成する。
受講予定者数	30名
評価方法	・参加者対象のアンケートにより評価する。

○英語教育希望研修

対象	小学校教員、中高の英語科教員
目的・内容	・新学習指導要領に基づく授業改善の方法、評価方法等について学ぶ。 ○パフォーマンス評価について ○CAN-DO リストの活用について ・教員の指導力及び英語力の向上を図る。
受講予定者数	各研修定員 40名
評価方法	・参加者対象の校アンケートにより評価する。

(4) 年間事業計画

月	川崎市の取組	外部専門機関等
4月	第1・2回小学校英語強化教員（ERT）研修 第1回小学校中核英語教員（CET）研修	
5月		
6月	第1回中学校外国語教育指導力向上研修 第1回高等学校外国語教育指導力向上研修 第1回小中学校教育課程研究会	
7月	第2回小学校中核英語教員（CET）研修 第3回小学校英語強化教員（ERT）研修	
8月	英語教育希望研修 第2回小中教育課程研究会	
9月	第1回高等学校各教科等研究会	
10月	第3回小学校中核英語教員（CET）研修	
11月	第2回中学校外国語教育指導力向上研修 第2回高等学校外国語教育指導力向上研修	
12月	第2回高等学校各教科等研究協議会	
1月		
2月	小中高合同外国語教育担当者会（兼第4回CET研修）	
3月	第4回小学校英語強化教員（ERT）研修	
【その他の取組】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校外国語・国際教育研究会外国語活動部会、中学校英語科部会、高等学校英語科部会と連携 ・ 英語教材作成支援システム LEAD（NHK エデュケーショナル）の中・高等学校への導入と活用 ・ 小学校教員の英語力および指導力向上のための近隣大学との連携 		

